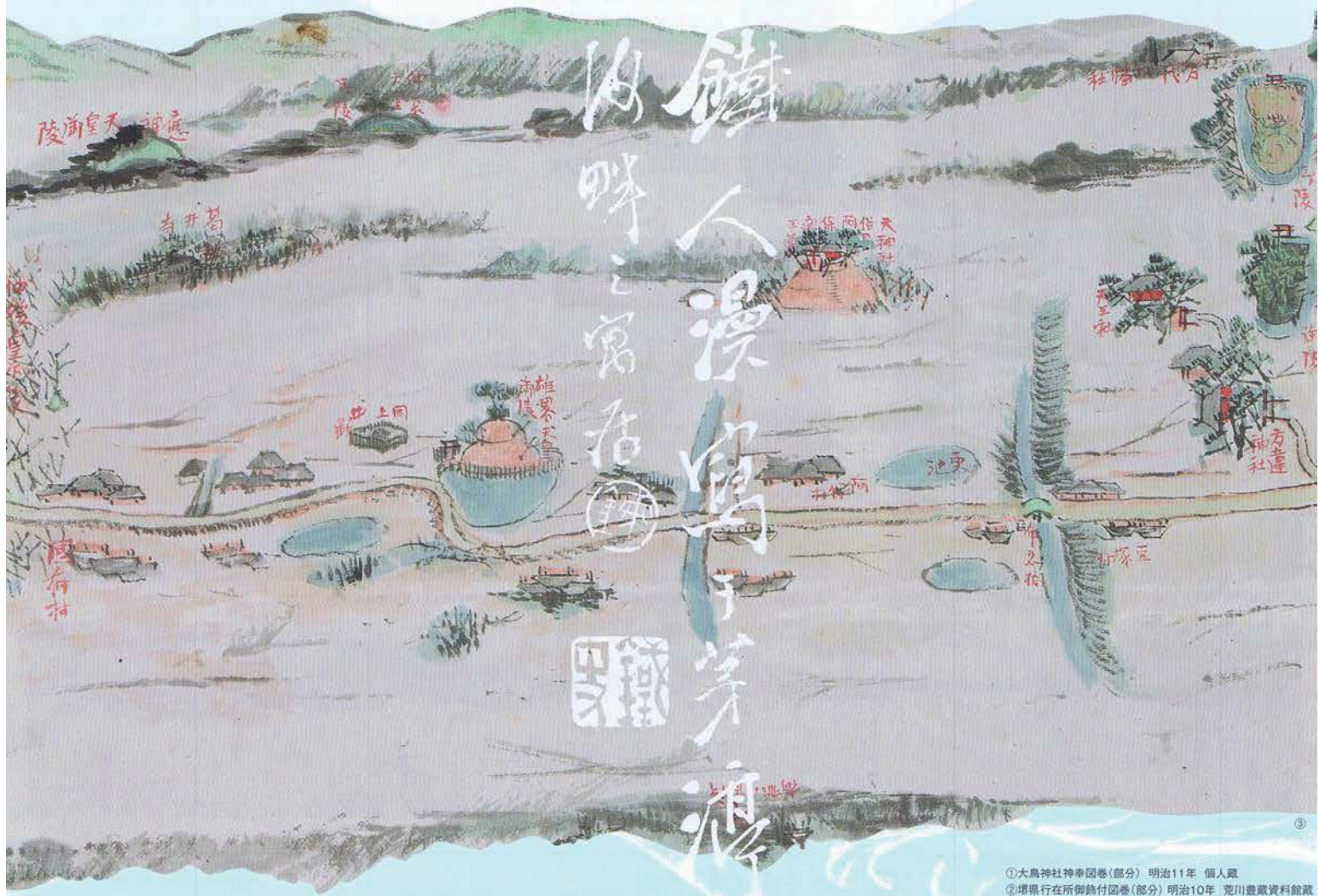


# 富岡鉄斎



いずみのくに ちぬのうみのほとり ぐうきよ  
——和泉国 茅渟湖畔の寓居にて——



①大鳥神社神奉回巻(部分) 明治11年 個人蔵  
②堺県行在所御鈔付回巻(部分) 明治10年 荒川豊蔵資料館蔵  
③堺県行幸道筋官幣大社御殿位置回巻(部分) 明治10年2月 荒川豊蔵資料館蔵

2017年

6月10日(土) — 7月9日(日)

- 開館時間 = 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時30分まで)
  - 休館日 = 6月12日(月)・19日(月)・26日(月)、7月3日(月)
  - 観覧料 = 一般200円(160円)、高大生100円(70円)、小中学生50円(30円)
- ※( )内は20名以上の団体料金 ※堺市内在住・在学の小中学生は無料 ※65歳以上の方、および障害のある方は無料(要証明書)

堺市博物館  
Sakai City Museum

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内  
TEL.072(245)6201 FAX.072(245)6263 <http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

ハロー・ミュージアム(博物館の展覧会などを24時間ご案内) TEL.072(244)9898

# 富岡鉄斎 —和泉国 茅渟海畔の寓居にて—



富岡鉄斎肖像写真  
(大鳥神社大宮司時代)  
明治10年頃 大鳥神社蔵

**近**代文人画の巨匠・富岡鉄斎(1836～1924)は京都に生まれ、89歳の生涯のほとんどを京都で暮らしましたが、42歳から45歳までという壮年期の一時期を官幣大社大鳥神社の大宮司・宮司として堺で過ごしています。この頃の作品には、後年の鉄斎作品の融通無碍なイメージとは異なる画風が見られ、落款に「茅渟海畔之寓居」(堺の海辺の仮の住まいという意味)と記すものがよくあります。

当時、大鳥神社は「堺県」という「大阪府」とは別個の行政区画にありました。堺県の領域は、現在の大阪府東部と南部に加えて奈良県のほぼ全域という広いものであり、多くの古墳を有した古代における国家の中核といえる地域でした。明治10年(1877)2月、明治天皇が堺県に行幸し、畝傍山麓の神武天皇陵に参拝しました。鉄斎はこの行幸に際して、堺県令・税所篤に命じられ、行幸の道筋にある神社および御陵の位置を示した図巻を描いています。

この行幸から140年目にあたる今年、本展では歴史的にも貴重な情報を伝えるこの図巻のほか、大鳥神社に伝わる鉄斎の作品や、堺で私塾を開いていた漢学者・土屋鳳洲ら文人たちとの交流によって生まれた作品などを展示し、鉄斎の堺での画業を振り返りたいと思います。

6月25日(日)午後2時～3時

特別鑑賞会

当館所蔵の富岡鉄斎・板倉槐堂合作「牡丹野菜園」を堺市茶室・伸庵(堺市博物館敷地内)の床の間で鑑賞後、企画展の展示品解説を行います。マスクまたはハンカチをご持参ください。先着20名。午後1時から博物館受付で整理券を配布します。要観覧料。

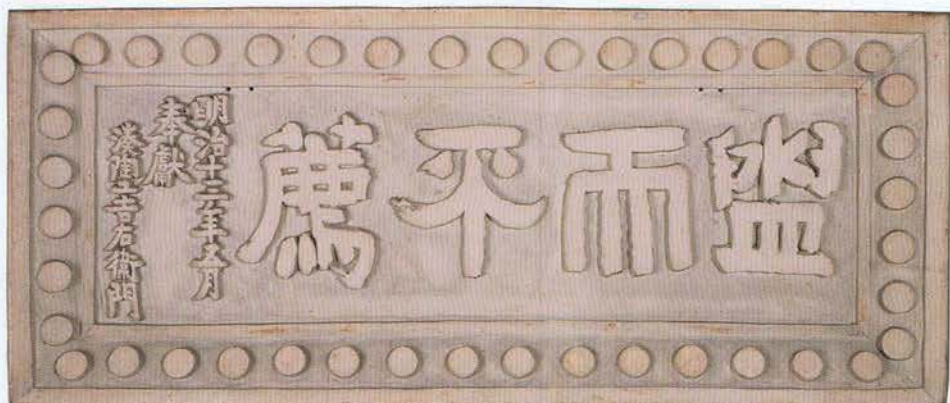
7月2日(日)午後2時～2時30分

展示品解説

申込不要。要観覧料。



事代主命神影(部分) 明治14年 清覚神清澄寺 鉄斎美術館蔵



湊焼扁額「監而不薦」富岡鉄斎揮毫・八代上田吉右衛門作 明治13年5月 大鳥神社蔵



茅渟海景図 明治14年頃 個人蔵



## 堺市博物館 Sakai City Museum

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内  
TEL.072(245)6201 FAX.072(245)6263  
<http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/>

■交通案内

- 電車 JR阪和線「百舌鳥」駅下車徒歩約6分
- バス 南海高野線「堺東」駅から南海バス(5系統・40系統で約10分)、バス停「堺市博物館前」下車徒歩約4分
- 駐車場 大仙公園仁徳御陵駐車場(有料)



堺市博物館公式キャラクター  
リカイタケルくん  
©YABUCHI Shohei

フェイスブックにも堺市博物館の情報満載  
<https://www.facebook.com/sakaishihaku/>

次回展予告

クワレルト・オブ・クワレルト  
**KOFUN**  
～古墳のカギを見つけてみよう～

7月22日(土)～9月3日(日)

